

佐井村指定ごみ袋のデザインが変わります

佐井村指定ごみ袋について、写真のような手提げ式（レジ袋型）にデザイン変更しました。持ち手が付いたことで、ごみ袋の口が結びやすくなります。（ごみ袋の容量に変更はありません）

旧デザインのごみ袋の在庫が無くなり次第、新しいデザインのごみ袋に順次変わっていきます。

※新デザインのごみ袋の販売は、各地区の佐井村指定ごみ袋販売店の在庫状況によって変わりますのでご了承ください。



ごみ出しルールは守りましょう

最近、収集日の前日など収集日以外の日のごみ出しや、1軒の家からの大量排出、ごみ袋の口を結ばず、紐やガムテープで止めた状態で排出するなど、ルールを守らないごみ出し事案を多数確認しています。こういった行為は、ごみ収集業者の負担が増えるほか、悪臭被害、カラス被害、火災リスクの増加などの近隣トラブルの原因にもなります。

ごみ出しの際は、しっかりとごみ袋の口を結んで、必ず当日の朝8時までに排出してください。

住民一人ひとりが正しい分別や出し方のルールを守り、資源ごみを混入させないよう、気を付けましょう。

ご不明な点については、担当までご連絡ください。

【お問合せ】 住民生活課 住民係 担当：竹内

「第5次長期総合計画」総合計画審議会が答申 みんなが“愛と誇り”を実感できるむら

村が佐井村総合計画審議会（香取 薫会長〔青森公立大学学長〕）に諮問していた佐井村第5次長期総合計画について、2月5日（金）、役場村長室で同審議会から村長に答申が行われました。

村では、むらの目指す基本理念や目標、将来像などを示した総合計画の基本構想（案）とそれを実現するための各種施策を盛り込んだ基本計画（案）について、今年度中に、令和3年度から令和12年度までの10年を対象とする新たな計画を策定することとしています。

審議会は、学識経験者や各種団体の役職員など、委員12名で構成しており、現行計画に基づき村が進めてきた取り組みの成果や課題を検証するとともに、住民や中学生を対象として実施したアンケート調査も踏まえながら、持続可能なむらづくりを進めていくため、今後、重点的に進めていくべき施策などについて、計4回にわたり活発な審議が行われました。

審議会からは、計画の趣旨と内容を広く住民に周知し、本村の課題と将来像をみんなで共有し、住民・議会・行政が手を携え、「みんなが“愛と誇り”を実感できるむら～日本で最も小さくかわいい漁村の挑戦～」の実現に努力されることを願いますとの答申を受けました。

村は、この答申をもとに、3月に開催される定例議会へ議案を提出し、議会での審議を経て、新年度からの新たなむらづくりをスタートさせます。

